平成28年度9月補正予算の概要

京 都 市

1 補正予算のポイント

今回の補正予算は、国の制度改正に即応し、新たにB型肝炎ワクチン予防接種の公費負担を開始するほか、老人福祉施設の安心・安全向上に向けたスプリンクラー設備等の整備助成などを実施し、子育て支援、福祉の更なる充実を図る。

また,「豊かな森を育てる府民税交付金」(プロジェクト枠)を活用し,京都市動物園に市内産木材のベンチを設置するとともに,北山丸太による「和の文化」の魅力発信を行うなど,市内産木材の振興に向けた本市独自の「木のあるまちづくり」の取組を推進する。

2 補正予算の内容

<補正事業の全体像(一般会計)>

(単位:千円)

項目	経費	主な内容
(1) 子育て支援, 福祉の更なる充実	151, 000	B型肝炎ワクチン予防接種の公費負担開始 老人福祉施設スプリンクラー設備等整備助成 民間保育所整備助成
(2) 「木のあるまちづくり」の更なる推進	24, 000	京都市動物園における森林資源活用事業 山科区制40周年記念事業「山科赤ちゃん大使」 北山丸太による「和の文化」魅力発信プロジェクト
숨 計	175, 000	

(1) 子育て支援、福祉の更なる充実 151,000千円

(保健福祉局)

B型肝炎ワクチン予防接種の公費負担開始 145,000千円

平成28年6月の予防接種法施行令等の改正を受け、平成28年10月1日から、公費負担の対象となる定期の予防接種として新たにB型肝炎ワクチン予防接種を開始する。

老人福祉施設スプリンクラー設備等整備助成 6,000千円

国補助金(補助率 10/10)が確保できる見込みとなったため、老人福祉施設が実施するスプリンクラー設備や火災報知設備の整備に対する助成を行う。

民間保育所等整備助成 債務負担行為設定(平成29年度106,300千円)

民間保育所等整備に対する助成について、今後も引き続き保育需要の増加が 見込まれるため、新たに平成30年4月開設に向けて2箇年で整備を行う施設 に関する債務負担行為を補正する。なお、平成28年度分の助成については、 当初予算で箇所を特定せず枠取りとしていた経費において執行する。

老朽改築及び定員増 1箇所 +20人

・「円町まぶね隣保園」

定 員 60→80人

場 所 中京区西ノ京北円町

助成総額 152百万円(2846百万円29106百万円)

(参考) 平成28年度当初予算枠取り分で整備実施確定の施設

増改築:つみき保育園(西京区)+20人

洛陽保育園(北区)+30人

ひかり保育園(南区)【平成30年4月開設予定】+20人

新 設:錦綾保育園(仮称)(西京区)+90人

きらきら保育園西大路五条(仮称)(下京区)+90人

增 築:樫原保育園(西京区)+30人

(2) 「木のあるまちづくり」の更なる推進 24.000千円

京都府が府下市町村に対して公募を行った「豊かな森を育てる府民税交付金」(プロジェクト枠)活用事業において、「木のあるまちづくり」の更なる推進に向けた事業が採択されたため、補正予算を計上する。

(文化市民局)

京都市動物園における森林資源活用事業 3,200千円

入園者が園内で休憩できるベンチが不足していることから、京都の豊かな自然を伝える「京都の森」エリアを中心に市内産木材を活用したベンチを設置し、プレートの掲示などによる入園者への周知を合わせて行うことで、市内資源の循環利用を図るとともに来園者環境の向上を図る。

山科区制40周年記念事業「山科赤ちゃん大使」 1,800千円

「山科区制40周年記念事業」の一環として実施する「山科赤ちゃんフェア」の機会を捉え、山科区で誕生した赤ちゃんを山科区制40周年PR大使に任命し、市内産木材を使用した木製玩具を記念として贈呈するほか、フェアに来場した3歳までの子供にも木製玩具を贈呈し、「木の文化」に触れる機会を創出する。

(産業観光局)

北山丸太による「和の文化」魅力発信プロジェクト 19,000千円

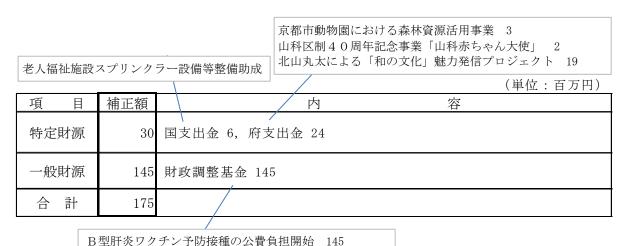
京都市の伝統産業製品である北山丸太の需要が減少していることから、北山 丸太を実際に見て触れる機会を創出することで、北山丸太による「和の文化」 の魅力を発信し、需要喚起へ繋げる。

3 補正予算の規模

(単位:百万円)

					(TE - D /2 1 1 /
会 計 名	補正前の規模	補	正	額	補正後の規模
一般会計	728, 074			175	728, 249
今回補正しない特別会計	923, 376			_	923, 376
合 計	1, 651, 450			175	1, 651, 625

4 一般会計補正予算の財源内訳



<参考1>財政調整基金の状況

(単位:百万円)

27年度末		28年度末				
残高	積立見込額	残高見込額				
(A)	(B)	当初予算	5月補正	5月補正 (追加)	9月補正	(A+B-C)
1, 374	(※) 962	_	13	48	145	2, 130

^{※ 27}年度決算における実質収支黒字の積立て955百万円, 運用益7百万円